

郵便  
報知新聞  
第五百壹号

陸前國気仙郡高田村の於才松の  
姉妹ハ幼クして兩親と失祖母が手許  
あれど其家貧乏に於て兩人申合共々  
塩釜の遊女屋田中の方へ身を任せ居  
てし明治四年東京の高白石某と  
かゝる逗留中惡漢小誘められ度博  
奕に携ると忽ち負て幾多の借財と  
まじり悪者共ハこれに赤裸うて  
猶罵るりのうたけおのゝ己が年季  
と書入金子と才覚とを白石が借と  
し路用迄与へし白石ハ大にあらこ  
礼を述て歸京の后再び塩釜にお到り  
お才と請出しく其家へ送り歸せし  
とを一旦恩に受給く忘却せざる  
稱すべきの人々あり



大橋  
彫  
金  
堂

